ききょうタイムズ TIMES

No.78
令和４年10月１日発行

発行：社会福祉法人ききょう会
編集：吉沢学園編集部

〒290-0523　千葉県市原市吉沢 117 番地
TEL.0436-98-1562　FAX.0436-98-1398

中核地域生活支援センター　いちはら福祉ネット（千葉県委託事業）

千葉県中核地域生活支援センター大会 in 2022

地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～つながり続けることの意味と重要性～

いま日本では、さまざまな縦割りや支え手・受け手という固定された役割を超えて、人々がつながり合い、地域を創っていこうという『地域共生社会』が目指されています。

今年度の中核センター大会は、厚生労働省 地域共生社会推進室の米田室長をお招きし、その実現に向けた具体的な取組みの核である重層的支援体制の構築についてお話を伺いました。これは、市町村が「断らない相談支援」「多様な社会参加に向けた支援」「地域づくり」を一体的に展開できるようにするものです。県内でいち早く着手した我らが市原市にもシンポジストとして登壇いただきました。中核センターには、市町村のこの取組みをバックアップする役割が期待されています。しっかり担っていこうと決意を新たにした大会でした。

中核地域生活支援センター連絡調整会議 障害部会

5月26日、約２年ぶりの中核地域生活支援センター連絡調整会議（障害部会）が行われました。『コロナ禍の現状と課題』をテーマに、障がい当事者やご家族からこの間の状況をお話しいただきました。「変わらず福祉サービスを利用できた」「電話診療やオンラインの会合が便利」という一方で、「外出や活動の機会が減って寂しい思いをした」「オンラインでの授業や会議についていけない」「マスクやソーシャルディルタンスによってコミュニケーションが取りづらい」という声も。新たな生活様式に合わせた環境づくりや支援体制が必要になっていると感じています。

学園イベント

屋 台 村

新型コロナウイルス感染症が流行し始めて３度目の夏。今年度も地域の皆様を招いてのききょう祭（納涼祭）は中止とさせていただき、学園利用者と職員のみで『屋台村』を実施しました。

ゲームコーナーでは【射的】、【輪投げ】、【パターゴルフ】の３つの屋台を出店しました。【射的】では、的となる景品はもちろん、的を並べる台も作成しました。【輪投げ】では景品となるジュースが選びやすいように、超至近距離に設置！【パターゴルフ】では本物のゴルフ場ではないかと思わせるほど作り込みで利用者さんも楽しんでいました。３回目と言うこともあり、これまで以上に職員の工夫が凝らされていました。利用者さんは景品を手に入れるために大奮闘！スケールアップされたゲームに大盛り上がりでした！

ゲーム後の食事屋台では、普段食の細い利用者さんが普段とは違った雰囲気に気分が乗ったようで、食事をモグモグと頬張る姿がみられ、職員も利用者さんも満足・満腹の屋台村となりました。

【行事主任のぼやき】

当日（８月４日）は雨。酷暑の中、２週間もグラウンドで準備をしてきたのに当日だけ雨。「行事主任が雨男だから」と、皆からの視線が痛い・・・。しかも２年連続で雨なのだからなおさらだ。
職員も利用者さんも、色々と我慢をしながら頑張っているんだ。お天気の神様がいるのであれば、どうかお願い！来年の屋台村だけは雨を降らさないでおくれ！！

お 花 見

今年も天候に恵まれ、晴天の下でお花見を行う事ができました。グラウンドにある桜は満開となり、皆でテーブルやブルーシートなどを用意し、食事や余暇時間を楽しみました。利用者さんは、桜を見上げて眺めたり、寝転んで寛いだりととてもリラックスできたと思います。また、夜には桜のライトアップを行い、水入れの終わった田んぼが鏡のようになり、ライトアップされた夜桜を幻想的に映していました。

学園イベント

ボッチャ大会

吉沢ボッチャ大会を行いました。ボッチャとは、赤と青チームに分かれ目標となるジャックボールに向かって赤と青のボールを投げ、いかに目標に近づけるかを競うカーリングに似た競技です。パラリンピック競技にもなっており誰でも楽しめるスポーツとして注目されています。当日は、ナイスショットがたくさん飛び出し、利用者の皆さんも真剣な眼差しで的を狙い、ボールを投げ、大会は大盛り上がりでした。投げる事が難しい方は補助具を使い全員で楽しむ事が出来ました。

奉仕作業

7 月 31 日吉沢地区草刈りに 4 名の利用者さんと職員が参加しました。地域の方々が鳳来寺や吉沢公民館周辺の草を刈った後、軽トラックに草を積む、箒を使い掃除をするなどして汗を流しました。暑い中での作業で大変でしたが、利用者さんが積極的に草取りや掃除をしてくれたので、とても綺麗になりました。今後も、利用者さんと共に地域に貢献できる活動を行っていければと思います。

梅の実収穫

梅雨の合間のよく晴れた日、園庭の梅を収穫しました。梅の実を枝からもいではかごに入れ、またもいではかごに入れ…梅を見つめる眼差しは真剣そのものです。高い枝の梅も竹竿で叩いて落とし、この日は大漁。収穫を終えた利用者さんも、かご一杯の梅を見てニッコリ笑顔を浮かべていました。

TABI Café

おすすめメニューと新鮮野菜

牛カルビ丼

TABI Café の営業も 3 年目に入り、地域の方との関わりも少しずつ増えてきました。店内でのお食事や委託販売している野菜、焼きたてのパンなどをお目当にご来店するお客様の他には、団体で地域の集まりや会議等で利用する事もあります。その中でも何度もリピートしてくださる方に TABI Café の「魅力」を聞いてみました。

「一番気に入っていること」は、立地や景色の他に、従業員との関りや対応がとても良いとのお言葉をいただけました。「おすすめしたいメニュー」では、昨年末に始めた「牛カルビ丼」を挙げていただきました。甘いお肉とちょっと辛いキムチナルムがちょうど良くマッチして、食欲をそそる一品に仕上がっています。

また、TABI Café では、地域の農家や家庭菜園の野菜を委託販売しており、こちらもご好評を頂いております。
元々は協議会が鶴舞バスターミナルにて行っていた「産直」の運営が困難になってしまったため、カフェに販売スペースを併設し、地域活性につながればと始めました。

開店当初は委託する農家の方も数名でしたが、今では 10 名以上の方が登録され、色々な種類の野菜が並ぶようになりました。今では出荷の際に、農家さん同士の交流の機会にもなっています。小さな販売所ですが、笑顔と活気があふれています。
そんな地域の方々から旅行客まで、いろいろなお客様がホッとできるお店を目指して営業して参ります。

学園トピックス

ご寄付ありがとうございました

2021年度、リフト付きハイエースを公益財団法人 JKA 様より補助を頂き購入しました。グループホームでは、車イスを利用している方が数名いるため、外出やドライブの際にはどうしても別々に移動する事が多かったのですが、車イスの方も座席に座れる方も一緒に移動する事ができ、車内ではみんなでワイワイ話をしたり、大きな声で歌ったりと今まで以上ににぎやかに過ごす事ができるようになりました。これからも活躍の機会が増えそうです。ありがとうございました。

リフトハイエース

ジョイサポート三和

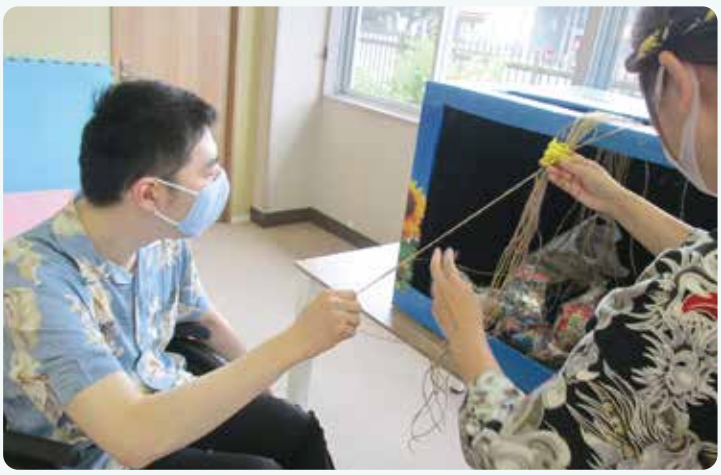
サマーフェスティバル

7月15日

今年のサマーフェスティバルは、コロナ禍の為ジョイサポート三和の職員と利用者のみでの開催となりました。各事業ごとに余興の案を出して、事前に撮影を行ってから、当日に上映会を行いました。「ダンス」や「太鼓」など、それぞれの事業ごとにユーモアのある余興内容となっており、利用者の皆さんからも好評をいただきました。

また、ゲームコーナーの千本引きでは一喜一憂する声や、千本引きの他サイコロゲームでも獲得した景品を早速開封して楽しむ様子もありました。

最後のイベントである大抽選会では利用者、職員共々大変盛り上がりました。案を出し合い工夫しながら、今後も感染症対策をしっかり行い楽しんでもらえる行事を計画していきたいと思います。



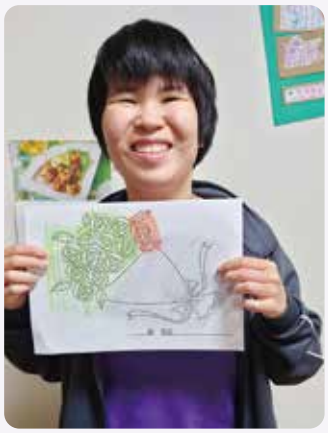
浅井小向デイサービスえん（地域密着型通所介護事業）

袖ケ浦公園

浅井小向デイサービスえんでは 6 月に袖ヶ浦公園にお出掛けして来ました。

公園内での散策では、花菖蒲や紫陽花がとてもきれいで、久々の外出で皆さん大変喜ばれていました。天候にも恵まれ、お昼ご飯は、調理員の手作り弁当を広げ「外で食べると美味しいね。」と、ゆったりとした心地良い時間が流れ、良い思い出になりました。

グループホーム



感謝の日制作

土日の余暇には各々の好きなことをしてゆっくり過ごすことが多いのですが、コロナ禍で保護者と会えない日々が続いていたので父の日・母の日を合わせて「感謝の日」として塗り絵の制作を行い、保護者様へお届けしたしました。一生懸命塗った作品は、保護者様にも喜んで頂けたと思います。

ぽっぽの丘外出

コロナ禍が少し落ち着いた頃、少人数で、いすみ市にある「ぽっぽの丘」に行ってきました。雨が多かった時期ではありましたが、天候にも恵まれ、電車好きの利用者さんは、沢山の電車や電車のグッズなどに大興奮して写真をバシバシ撮っていました。始めは電車に興味を示さなかった利用者さんが、車掌さんの衣装を着た途端に笑顔になり、周りにある電車を見るようになりました。1 日中楽しく過ごされていました。

ウォークラリー

5月某日、高滝ダムでウォークラリーを開催しました。各グループに分かれ支援員と談笑しながら指定されたチェックポイントを周りました。楽しみながら地域の文化や自然にふれることができる機会になりました。

ジョブハウス　もみの木

お弁当とパンプキンケーキ

猛暑も続き、コロナ禍の状況の中、7月20日～8月31日の夏休みの期間中に児童デー東国分寺台・菊間の2カ所を利用される施設から毎日のお昼のお弁当の注文をいただきました。8種類のお弁当の中で、ソースかつ丼は児童及び職員また、一般業者の皆さんからも「ソースが美味しい」と好評をいただき、「どこのソースを使っている！」か、などの質問をいただいております。ソースはショップオリジナルソースで、どこかのお弁当屋さん？！の味に似ています！ランチメニューにもございますので、食してみて下さい。また、当店裏で栽培したカボチャで作った季節限定のパンプキンケーキもございますので、ご来店お待ちしております。

障害者グループホーム支援事業（千葉県委託事業）

世話人研修会

はじめまして、４月より市原圏域障害者グループホーム等支援ワーカーに配属となりました大宮俊介です。グループホームは障害のある方にとって、地域での暮らしに大変重要な役割を担っています。ここ数年、市内、県内ともにグループホームの数は急増しており、利用者がグループホームを選べるようになってきています。

当センター主催の設置者会、世話人研修会を通じて、グループホームの質の向上を図り、利用者一人ひとりの望む暮らしを叶えられる地域づくりに尽力して参りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

生活困窮自立支援事業 いちはら生活相談サポートセンター（市原市委託事業）

第５回つながる市

無印良品アリオ市原にて開催された「第５回つながる市」にいちはら生活相談サポートセンターが出店し、フードバンクの食品回収、センター職員の手作りのポーチ・巾着・木製の椅子等を販売しました。当センターの就労準備支援事業「いっぽ」利用者の方の明るい声かけで多くのお客様がお見えになりました。温かみのあるハンドメイド作品は大人気。ポーチを購入した女性は『孫にぴったり！私は作る時間がなかったから助かります』と笑顔で話していました。職員と利用者、そしてお客様がつながる和やかで貴重な体験をさせていただきました。

デイキャンプ

学習支援事業「未来くらぶ」夏のイベントとしてデイキャンプを開催し、生徒と卒業生合わせて25名が参加しました。

バーベキューとチバニアン見学のさなか、学年や学校の垣根を越えて笑顔で話し合う生徒達の微笑ましい姿も見られました。市原さくらライオンズクラブ様より文房具のプレゼントもあり、皆が喜んでいました。

児童発達支援事業＆放課後等デイサービス

こどもステーション三和

遠足（東京ドイツ村）

６月行事遠足🚌東京ドイツ村へ行ってきました。お弁当を食べて午後から出発。観覧車を目の前にすると少し不安気な表情でしたが遠くの景色を見たり、高さや揺れを感じたり、笑顔が見られました。

シイタケ狩りは「どれがいいかなぁ」「大きいのにするー」と選んで採って、お土産に持ち帰ってきました。今回のメインは観覧車とシイタケ狩り！でしたが、やはり１番いい表情が見られたのは、アイスクリームやポテト、お菓子など好きなおやつを選んで食べているときでしたね😊 次回は１日満喫しましょうね～。

こどもステーション東国分寺台

４月２日(土）農業センターへ遠足！

コロナ禍で外出を控えていましたが、今回はお花見を兼ねて、お弁当を持って、久しぶりの外出。嬉しくて芝生の上をころころ転がったり、ひらひらと舞う花びらをじいっと見つめたり・・・やっぱり自然の中の活動はこどもたちの感性を育てます。中・高生のお兄さんたちは広場でボール投げをして思いっきり体を動かして遊びました。

まだまだ油断はできないけれど、子どもたちの笑顔を見て、感染対策をしっかり行いながらこんな活動を増やしていきたいと思いました。

こどもステーション菊間

袖ヶ浦公園 遠足

４月２日(土）お天気に恵まれ袖ヶ浦公園に行ってきました！

お弁当を食べ元気いっぱい！大きなアスレチックを目指し外周 1.6 ㎞の道のりを頑張って歩いた子ども達、小さなお友達を中学生のお兄さん、お姉さんが手を引いて歩く姿、微笑ましくなりました (^^♪

「着いたー！」たくさん歩いたのも忘れたようで、大きなアスレチックに向かって走る子ども達！子どものパワーは無限だな😊 と思いつつ、楽しむ子ども達を見て、また来ようね♪と思う１日でした。

法人 HP、Facebook、求人情報はこちらから ➡